

平成24年度  
実施事業

事務事業名	成年後見制度利用支援事業（高齢者）
-------	-------------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	2	高齢者福祉の充実
主要な施策	2	②ひとり暮らし老人の支援
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 21 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 介護保険特別会計

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護グループ
-----	-------	-------	-----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	成年後見制度を利用することにより、判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護し、福祉の向上を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	成年後見制度の利用が必要な65歳以上の方で、成年後見制度（法定後見）の申立を行う親族がいない、申立に係る費用や後見人等への報酬を負担できない方を対象に、家庭裁判所に申立を行うとともに、申立費用や後見人への報酬を負担できない場合には、その費用の一部又は全部を市が負担する。 【事業実績】 市長申立件数：1件 費用負担件数：0件
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	事業継続により、判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護し、福祉の向上を図る。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	民法、老人福祉法、介護保険法、登別市成年後見制度利用支援事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 地域支援事業交付金	千円		4	415	415	415
道支出金	名称 地域支援事業交付金	千円		2	207	207	207
地方債	名称	千円					
その他	名称 成年後見制度利用者負担金	千円	71	5	199	199	199
一般財源	名称	千円	1	5	231	231	231
事業費 合計			72	16	1,052	1,052	1,052

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 市長申立件数	件	目標値	3	5	5	5	5
			実績値	2	1			
	② 申立費用等負担件数	件	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	0	0			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
成年後見制度の申立を行う親族がない、申立に係る費用や後見人等への報酬を負担できない方が制度を利用できなかった。	成年後見制度の申立を行う親族がない、申立に係る費用や後見人等への報酬を負担できない方を対象に、家庭裁判所に申立を行うとともに、申立費用や後見人への費用を負担できない場合には、その費用の一部又は全部を市が負担し、判断能力の不十分な高齢者の権利・利益を保護し、福祉の向上を図ることができた。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 民間では実施できないため、市が実施しなければ、制度を活用できない方がいる。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 高齢化が進行し、認知症高齢者等の増加が予想されており、判断能力が不十分な高齢者の支援は必要である。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 民間では実施できない。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護し、福祉の向上を図ることができた。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	事業を継続しなければ、成年後見制度を利用できない高齢者がいるため。
-----------	----------------------	-----------------------------------

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)